



2026年度 早稲田大学大学院法学研究科 入学試験要項

2026年4月入学
修士課程 一般入試

早稲田大学

目 次

●修士課程 一般入試	
1. 募集専修	1
2. 受験要領	2
3. 入学手続	18
●法学研究科案内	
1. 専修からのメッセージ	19
2. 履修・進学について	19
●奨学金制度	21
●外国学生（外国籍）の方へ（在留資格について）	22

この「入学試験要項」では、携帯電話・スマートフォン・タブレット・ウェアラブル端末等の通信機能を持った電子機器をすべて含めて「携帯電話等」と表記しています。

○個人情報の取り扱いについて

本学では、志願時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学試験実施、合格発表、入学手続およびこれに附随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。また、上記業務の全部又は一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。本学に提出された書類・資料・論文および提供された情報等（「本提出書類等」といいます。）につき、その真正性等について、本学が発行元・提供元および論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすることがあります。志願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとします。これらの他、個人が特定されないように統計処理した個人情報を、本学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用します。

なお、本入試においては、株式会社サマデイ（<http://www.samadhi-group.com/>）が提供するオンライン出願システム「The Admissions Office」を使用します。本システムの利用にかかる個人情報の取扱については、以下の内容をご確認いただき、予めご了承の上、出願をしてください。「[The Admission Office 利用規約（早稲田大学）](#)」

1. 募 集 専 修

専攻名	専修名	研究指導担任者					
民事法学専攻	民法	青木 則幸	秋山 靖浩	石田 剛	大澤 慎太郎	大塚 直	
		大場 浩之	三枝 健治	白石 大	橋本 有生	山口 齊昭	
		山野目 章夫					
	商法	尾形 祥	黒沼 悦郎	小出 篤	鳥山 恭一	箱井 崇史	
		福島 洋尚	若林 泰伸				
	民事手続法	内田 義厚	菅原 郁夫	高田 昌宏	棚橋 洋平	勅使川原 和彦	
		中本 香織	松村 和徳	山本 研	渡部 美由紀		
	労働・社会法	大木 正俊	菊池 馨実	竹内 寿	水町 勇一郎		
	知的財産権法	上野 達弘	鈴木 将文	ラーデマッハ クリストフ			
	環境法	大塚 直	森本 英香				
	経済法	岡田 外司博	中里 浩				
	国際関係法(私法)	久保田 隆	種村 佑介				

専攻名	専修名	研究指導担任者					
公法学専攻	憲法	愛敬 浩二	江原 勝行	金澤 孝	山本 真敬		
	行政法	岡田 正則	下山 憲治	田村 達久	人見 剛	渡辺 徹也	
	刑法	遠藤 聡太	大関 龍一	北川 佳世子	杉本 一敏	田山 聡美	
		松澤 伸	松原 芳博				
	刑事訴訟法	大澤 裕	小川 佳樹	酒巻 匡	稗田 雅洋		
	刑事政策	小西 暁和					
	国際関係法(公法)	河野 真理子	酒井 啓亘	萬歳 寛之	古谷 修一		

専攻名	専修名	研究指導担任者					
基礎法学専攻	法哲学	郭 舜					
	法史学	和仁 かや					
	法社会学	高村 学人					
	英米法	安部 圭介	中村 民雄				
	フランス法	大橋 麻也					
	ロシア・東中欧法	渋谷 謙次郎					
	中国法	文 元春					

※上記内容は変更されることがあります。その都度更新しますので、定期的に確認してください。

※募集は指導教員単位ではなく、専修単位で行ないます。指導教員は学生の研究内容を考慮して決定します。

2. 受 験 要 領

(1) 出 願 資 格

以下のいずれかの要件を満たしていることを必須とします。

- ① 大学を卒業した者、または2026年3月までに卒業見込みの者。
- ② 大学改革支援・学位授与機構により、学士の学位を授与された者、または2026年3月までに授与される見込みのある者。
- ③ 外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者、または2026年3月までに修了見込みの者。
- ④ 外国の大学やその他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者、または2026年3月までに授与される見込みのある者。
- ⑤ 文部科学大臣の指定した者。
- ⑥ 2026年3月まで大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了もしくは2026年3月までに修了見込みの者で、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者(いわゆる「飛び入学」)。
- ⑦ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年4月までに22歳に達する者。

※最終学歴が中国の大学の専科(3年制)の場合には出願資格はありません。ただし、専科を卒業後に本科を卒業して16年の学校教育を修了した場合は出願を認めます。

※「外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者」とは、「日本国外の正規の学校教育における「16年目の課程」を修了した者」という意味です。16年間教育を受けたかではなく、「16年目の課程を修了しているかどうか」で判断します。

※初等～高等教育までの正規の課程の年数が16年未満の国の課程を修了した方は、事前に学歴の審査を行います。”学歴確認フォーム”を下記のサイトからダウンロードし、必要事項を記入のうえ、お問い合わせください。

・学歴確認フォームダウンロードサイト: <https://www.waseda.jp/inst/admission/en/graduate/japanese/>

・問い合わせ先メールアドレス: gradlaw@list.waseda.jp

※上記⑥⑦に該当する方は、**＜2025年6月30日までに＞**個別審査を受け、出願許可を得る必要があります。詳しくは本研究科事務所へお問い合わせください。

障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、本研究科までお問合せください。また、大きな病気やけがのため、受験に支障をきたす恐れがある場合、あるいは出願後にそのような状態になった場合でも、速やかにお問合せください。

本学(学校法人早稲田大学が設置する早稲田大学その他の学校をいう。以下同じ。)の教員は、本学の学籍を有することができませんので注意してください。ただし、規程上認められている場合もありますので、不明点がある場合は所属箇所事務所を通じて本部にお問い合わせください。

(2) 募 集 人 員

修士課程	民 事 法 学 専 攻	60 名 以 内
	公 法 学 専 攻	
	基 礎 法 学 専 攻	

※先端法学専攻(LL.M.コース)は本入試では募集しません。

(3) 出 願 期 間 ・ 出 願 方 法

出願期間：2025年7月14日（月）～7月18日（金） 23：59 ※日本時間

出願方法：出願システム“The Admissions Office (TAO)”より受け付けます。

※出願期間内に必ず入学検定料の支払いおよびTAO上での出願を完了してください。入学検定料の納入が確認できない場合、またTAOの出願が完了となっていない場合は受理できません。

(4) 入 学 検 定 料

入学検定料： 30,000円

支払期間： 2025年7月14日（月）～7月18日（金） ※日本時間

支払方法： 以下記載の A または B

※入学検定料支払期間を過ぎてからの支払いは一切認めません。

※国費外国人留学生として本研究科に入学する方は、入学検定料が後日返金される場合があります。

※OECD/DACが発行するODA受給国リストに掲載される「Least Developed Countries」「Other Low Income Countries」の認定国に居住し、かつ該当国の国籍を有する方は、本人からの申請に応じて入学検定料を免除します。該当する方は出願前に本研究科事務所までご相談ください。（日本国内からの出願は対象外）

A. クレジットカード・中国オンライン決済

- ・クレジットカード・中国オンライン決済での支払いに際しては、パソコンもしくは携帯電話等により「インターネット上の支払いサイト」（<https://e-shiharai.net/card/>）にアクセスをして所定申込手を完了させる必要があります。

※英語版のURLは上記とは異なりますのでご注意ください。（<https://e-shiharai.net/ecard/>）

- ・支払い終了後、決済完了の画面（PDF）を TAO にアップロードしてください。

※支払いは、土日・祝日を問わず、24 時間いつでも可能です。（納入最終日は、日本時間23:00までにカード決済を完了させてください）

※支払いに使用するカードは志願者本人以外の名義でも構いません。ただし、家族・知人が代理で手続をする場合でも、「基本情報」には必ず志願者本人の情報を記入するようにしてください。

- ・e-shiharai.netの「カテゴリ選択」では、以下のとおり選択してください。

第一選択	法学研究科(修士課程・博士後期課程)
第二選択	2026年4月入学
第三選択	修士課程
第四選択	一般入試 30,000円

B. コンビニ検定料収納

- ・入学検定料は最寄りのコンビニエンスストアで支払ってください。
- ・コンビニエンスストアでの支払いに際しては、事前にパソコンもしくは携帯電話等によりインターネット上の「入学検定料コンビニ支払いサイト」（<https://e-shiharai.net/>）にアクセスをして所定の申込手を完了させる必要があります。

- ・支払い終了後、入学検定料・選考料 取扱明細書（PDF）を TAO にアップロードしてください。

- ・支払いは、土日・祝日を問わず、24時間いつでも可能です。（納入最終日は「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機での操作は23:30までとなります）。

※家族・知人が代理で手続をする場合でも、必ず志願者本人の情報を入力するようにしてください。

※コンビニエンスストアでの支払いが困難な方は、事前に本研究科まで連絡してください。

- e-shiharai.netの「カテゴリ選択」では、以下のとおり選択してください。

第一選択	法学研究科(修士課程・博士後期課程)
第二選択	「次の第3選択へ」
第三選択	「次の第4選択へ」
第四選択	修士課程 一般 30,000円

早稲田大学 クレジットカード・銀聯カードでの検定料支払方法

24時間・365日いつでも支払いOK!これが簡単・便利なシンプルスタイル!

クレジットカード・銀聯カードを利用して検定料のお支払いが可能です。



Web申込みオンライン決済

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。



<https://e-shiharai.net>

期末の卒業年度アクセス制限サービスは解除してご利用ください。



1. トップページ

お支払い先を選択してください。

2. 学校選択

申し込みをする学校の学校名をクリックしてください。

3. 学校案内

注意事項等を確認のうえ、個人情報の取扱いについて同意してください。

4. カテゴリ選択

第1～第4選択を選択して「次へ」をクリック

5. 基本情報入力

申込者本人の基本情報を入力してください。
支払い方法を選択し、「次へ」をクリック

クレジットカードの場合

支払いに利用するカード番号(16桁)を入力してください。
※American Expressの場合は15桁
※お支払いされるカードの名義人は申込者本人でなくても構いません。

全入力内容が表示されますので、
よろしければ「上記の内容で確定する」をクリック

「申込内容照会」にアクセスし「照会結果」を印刷する
携帯端末をご利用の場合は、プリンタのある環境で申込内容照会を行ってください。

銀聯カードの場合

画面の指示に従って、支払いを完了してください。

「申込内容照会」にアクセスし「照会結果」を印刷する



出願

出願時には、「申込内容照会結果」の画面(PDF)を
出願システム(TAO)にアップロードしてください。

【注意事項・よくあるお問合せ】

- 出願・申請書類に記載されている支払い期間内であれば、いつでもお支払い可能です。
支払い期間に入試要項をご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は日本時間の23:00までにカード決済を完了させてください。
- 銀聯カードで決済する場合は、パソコンからお申し込みください。
- カードの名義人は、申込者本人でなくても構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。
- 申込内容照会は、e-shiharaiサイトの「申込照会」にて、お申し込み時に通知された【受付番号】【生年月日】を入力すると表示されます。
- カード審査が通らなかった場合は、カード会社へ直接お問い合わせください。

■手数料について

検定料の他に事務手数料が別途かかります。

入学検定料金額	事務手数料(消費税込)
～ 29,999 円	565 円
30,000 円 ～ 49,999 円	1,005 円
50,000 円 ～ 69,999 円	1,446 円
70,000 円 ～ 99,999 円	1,833 円
100,000 円 ～ 199,999 円	2,074 円
200,000 円 ～ 299,999 円	2,618 円
300,000 円 ～	4,400 円

事務手数料は実費になる場合があります。

クレジットカード・銀聯カードでの検定料納入についてのお問い合わせは、サイトのよくある質問をご確認ください。

早稲田大学 コンビニエンスストアでの検定料払込方法

検定料はコンビニエンスストア「セブン-イレブン」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」で24時間いつでも払い込みが可能です。

① まずはパソコン、スマートフォンで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。



<https://e-shiharai.net/>

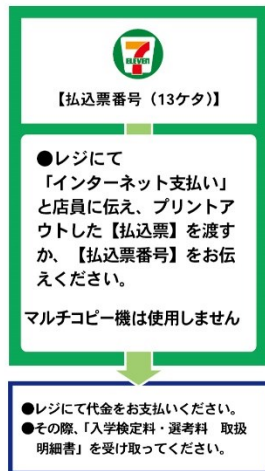


端末の未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。

※入力内容を間違えた場合は、始めからもう一度やり直し、新たな番号を取得してお支払いください。
申込み完了後に通知する支払期限内に代金を支払わなければ、入力情報は自動的にキャンセルされます。

② コンビニでお支払い

- 検定料はATMでは振込できません。必ずレジでお支払いください。
- 「収納証明書」には収納印は押印されません。（コンビニ払込時には収納印は不要です）



③ 出 願

出願時には、「入学検定料・選考料 取扱明細書」のPDF
を出願システム（TAO）にアップロードしてください。

■注意事項

- 出願期間を入試要項でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機での操作は23:30までです。
- 一度お支払いされた検定料は、コンビニでは返金できません。
- 取扱いコンビニ、支払い方法は変更になる場合があります。
変更された場合は、Webサイトにてご連絡いたします。

●検定料の他に事務手数料が別途かかります。※事務手数料は変更になる場合があります。

事務
手数料

入学検定料金額	事務手数料(消費税別)
～ 9,999 円	500 円
10,000 円 ～ 29,999 円	570 円
30,000 円 ～ 49,999 円	600 円
50,000 円 ～ 99,999 円	820 円
100,000 円 ～	890 円

「検定料納入」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはサイトでご確認ください。

<https://e-shiharai.net/>

(5) 出 願 方 法

オンライン出願システム「The Admissions Office」(以下、TAO)より出願申請および出願書類の提出を行ってください。
手順は以下の記載のとおりです。

※TAOへの入力は、2025年6月25日(水)10:00より可能です。

※必ず「出願を完了する」ボタンのクリックまでを、出願期間内(2025年7月14日(月)～7月18日(金)23:59 ※日本時間)に完了するようにしてください。

①TAO(<https://admissions-office.net/ja/portal>)にアクセスし、「会員登録」を選択



② 出願者アカウントを作成



※本入試においては、表示言語は「日本語」を選択してください。

③ 登録を完了

必要な情報を入力した後、登録したメールアドレス宛に登録確認のメールが送信されます。そのメール文中にある「登録を完了する」をクリックしてください。

④ ログイン後、出願受付中の大学の中から「早稲田大学」を選択。



⑤ 学部 / 研究科名:「法学研究科」を選択

⑥ 募集名:「2026年4月入学 修士課程 一般入試」を選択

⑦ 「出願を開始する」をクリックし、必要項目に入力・書類の提出

⑧ 全ての入力および書類提出ができたことを確認し、「出願を完了する」を選択

※上記画面と申請画面が異なる可能性がありますが、「出願を完了する」を選択いただければ問題ありません。

※必ず、「出願を完了する」まで実行ください。押し忘れに注意してください。「出願中」の場合は受付ません。

<出願上の注意>

- ・入学検定料支払いと出願書類の提出・受理をもって出願が完了します。
- ・出願書類の提出はすべてWeb出願システム(TAO)で行います。郵送、大学窓口(カウンター)への持ち込みは一切認めません。
- ・出願期間を過ぎた出願は一切受け付けません。
- ・志願者の利用するPC等のデバイスやネットワークの不調等により出願期間内に申請が完了しなかった場合も、本学では一切責任を負いません。
- ・出願手続完了の有無に関する問い合わせにはお答えできません。
- ・出願書類に不備や不足書類があった場合は、出願を受理しないことがあります。必要書類が揃っているか十分に確認の上、出願をしてください。また本研究科から連絡があった時はすみやかにその指示に従ってください。
- ・出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。
- ・志望動機やエッセイ、研究計画書等は、本研究科に自分自身について説明する機会となりますので、ご自身で作成してください。生成AIを使用してこれらの書類を作成し、自分で書いたものとして提出した場合、不正行為とみなされる可能性や、選考上の評価に影響を及ぼす可能性があります。
- ・TAOより提出したデジタルコピー(原本のPDF等)が不鮮明で読解不能な場合、書類不備として扱い、出願を受理しないことがあります。証明書等PDFをTAOにアップロードする際はご注意ください。
- ・証明書は氏名・生年月日・国籍等が、パスポートの記載と一致しているものを提出してください。二重国籍による複数の氏名表記がある場合には、同一人物であることを確認できる証明書(全てのパスポートのコピーなど)を併せて提出してください。一致していない場合、出願は受理されません。
- ・改姓のため、証明書等に記載されている氏名が出願時の氏名と異なる場合は、戸籍抄本等公的証明書のコピー(もしくは理由書(書式自由))をご提出ください。合格後、入学手続を行う際には、戸籍謄本等公的証明書原本の提出が必要となります。
- ・出願時に TAO 上で提出する証明書類(卒業証明書・成績証明書等)は、デジタルコピーで可としていますが、合格後、入学手続の際には、全ての当該証明書の原本を提出いただきます。入学手続締切日までに原本が提出されなかった場合、あるいは出願時に提出されたデジタルコピーと内容が異なるものが提出された場合は、入学手続未了とみなし、入学許可を無効とすることがあります。
- ・出願後に、TAOに登録された住所・電話番号・Eメールアドレス等を変更した場合は、速やかに本研究科事務所に連絡をしてください。登録情報を変更したことが原因で本学からの連絡が届かなかったとしても、本学は一切の責任を負いません。

(6) 出 願 書 類

※出願書類に不備や不足書類があった場合には、出願を受理しないことがあります。

※[所定様式]は、本研究科ウェブサイトよりダウンロードください。

提出書類		
志願票 [所定様式]	- 全ての項目において、漏れなく、誤りの無いよう記入してください。出願後に、志願票に書かれた住所・電話番号・Email アドレス等を利用して本研究科より連絡を取りますので、間違いの無いように記入してください。 - 学歴については、予備校・語学学校などの記入は不要です。 - 記載した同じ内容を、出願システム (TAO) にも入力いただきます。	
入学検定料 収納証明書	入学検定料をクレジットカード・中国オンライン決済、またはコンビニで支払ったことが分かる証明 (明細書の PDF や照会 Web 画面) を出願システム (TAO) にアップロードしてください。	
顔写真 (縦4:横3)	1. 出願時から3ヶ月以内に撮影したカラー写真 (タテ4:ヨコ3の比率・上半身・正面・無帽・無背景・枠なし) をアップロードしてください。なお後述のとおり、入学手続時には出願時と同じ写真のデータ版をアップロードすることとなりますので、カラー写真データは大切に保管しておいてください。 2. マフラーやサングラスなどを着用したままで撮影された写真は受け付けません。ただし、医療上、宗教上の理由で帽子等を着用した写真を提出したい場合は、出願に先立ち、お問合せください。 3. 顔写真は、試験当日の本人確認として使用しますので、スナップ写真等の不鮮明な写真や、髪型の違い等により個人の判別・本人確認が困難な写真は受け付けません。 4. 顔写真には加工・修正を施さないでください。 5. スマートフォン等で個人が撮影・印刷された写真は受け付けません。必ず証明写真 (スピード写真可) で撮影してください。 6. 入学手続時に学生証用の写真を別途アップロードすることとなりますが、その際は出願時と同じ写真を使用してください。なお入学手続時にアップロードした写真は学生証のほか、学内諸手続における本人確認および学内の各種Webサービス等に本人情報として登録しますので、あらかじめご了承ください。	
各種証明書 <要原本> <日本語または英語>	証明書共通 注意事項	- 注 1. 証明書は日本語または英語で書かれた公式のものを提出してください。他言語の場合は、翻訳文を作成し、翻訳文の内容が正しいことを証明する公証書 (原本) とあわせて提出してください。 - 注 2. 志願票の「学歴」欄に記載した学歴の証明書はすべて提出してください。 (大学の科目等履修生を学歴に記載した場合は、必ずその在籍を証明する証明書も提出してください) - 注 3. 大学卒業後、大学院に進学した場合は、大学と大学院の証明書の両方を提出してください。 - 注 4. 大学・大学院に在学中に留学をされた場合は、留学期間および留学中に取得した成績が明記された証明書を提出してください。 - 注 5. 証明書記載の氏名と出願氏名が異なる場合は、戸籍抄本等 (同一人物であることを確認できる公的証明書) もご提出ください。 - 注 6. 休学・兵役等の期間があった場合は、その旨を証明する大学または公的機関発行の証明書を提出してください。 - 注 7. <u>中国の大学を卒業(修了)し、学位を取得した学生は学位取得証明書と卒業(修了)証明書の両方を提出してください (中国の大学を卒業して学位が取得できなかった場合でも、通常の課程による16年の学校教育を修了していれば出願資格はあります)。</u>
①卒業 (修了) 証明書 ②成績証明書 <中国の大学出身者のみ> ③学位取得 (見込) 証明書 <中国の大学出身者のみ> ④ Online Verification Report (CSSD)	①卒業 (修了) 証明書 ※見込みの場合は卒業 (修了) 見込証明書	1. 大学が発行した証明書を提出してください。(要大学印) 2. 学歴に記載した全ての大学 (学士課程、修士課程、ダブルディグリー、専科、編入学含む) の各証明書を提出してください。 3. 入学・卒業 (見込) 年月も記載されているものを提出してください。 4. 卒業(修了)見込の場合は、卒業(修了)見込証明書を提出し、合格後、入学手続を行う際に卒業(修了)証明書/学位取得証明書(中国の大学(大学院)卒業(修了)の場合のみ)を必ず提出してください。 5. 非正規課程に在学していた経験があり、卒業 (修了) 証明書が発行されない場合は在学期間を示す証明書 (在学期間証明書) などをご提出ください。
	②成績証明書	1. 大学が発行した証明書を提出してください。(要大学印) 2. 成績証明書は、大学学部以上の全学期の成績が記載されたものを提出してください。大学卒業後、大学院も修了 (見込含む) した場合は、大学・大学院両方の成績証明書を提出してください。 3. 編入学している者は編入学前の学部の成績証明書も提出してください。 4. 飛び級または繰り上げ卒業により、飛び級した学年、理由等が証明書に記載されていない場合は、それを証明する大学作成の書類を提出してください。
	<中国の大学出身者のみ> ③学位取得証明書 ※見込みの場合は学位取得見込証明書	【中国の大学出身者のみ提出】 1. 中国の大学を卒業し学位を取得した方は提出してください。 2. 学歴に記載した全ての大学 (学士課程、修士課程、ダブルディグリー、専科、編入学含む) の学位証明書を提出してください。 3. 学位を取得していない場合は、別紙にその旨を記入し提出してください。

	＜中国の大学出身者のみ＞ ④ CSSD(CHESICC) Online Verification Report	【中国の大学出身者のみ提出】 CSSD(CHESICC)発行の以下3つの認証証明書を出願システム(TAO)にアップロードしてください。 また、CSSD(CHESICC)から本研究科 Email アドレス宛 (gradlaw@list.waseda.jp) への直送も手配ください。Email への直送は出願期間前に到着した場合にも受理いたします。 1. 成績の認証 英文の「Verification Report of Higher Education Students Academic Transcript」 2. 卒業(修了)の認証 卒業者 : 英文の「Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」 卒業見込者 : 英文の「Verification Report of Student Record」 3. 学位取得の認証 卒業者 : 英文の「Verification Report of Higher Education Degree Certificate」 卒業見込者 : 卒業確定後(法学研究科入学前まで)に上記認証を提出ください。 ※CSSD(CHESICC)についてはこちら (www.chsi.com.cn)を確認してください。 ※ご自身での TAO へのアップロードと CSSD からの Email 直送、両方が必要です。 ※学歴に記載した全ての中国の大学(学士課程、修士課程、ダブルディグリー、専科、編入学含む)のものを手配してください。 ※CSSD(CHESICC)の認証書類が提出できない場合は、その理由を別紙に記載し提出してください。なお、理由によっては再度提出を求める、または出願を認めないことがあります。
研究計画書 [所定様式]	・研究計画書には、志望動機・本研究科での研究テーマ、そのテーマについて自身で勉強したこと、および入学後の研究予定を 1000 字程度で記入し、関連する文献および資料名(主なもの 5 点以内)を挙げてください。	
語学能力証明書 ※該当者のみ	①日本語能力試験(JLPT)1級もしくはN1合格の「認定結果及び成績に関する証明書」 ②日本留学試験(EJU)「日本語」の成績(記述を除く)260点以上の「成績通知書」 ※外国において通常の課程による16年の学校教育すべてを修了した方のみ提出してください。 ※①もしくは②のいずれかを提出してください。 ※必ず点数の記載があるものを提出してください。	
語学能力証明書 ※該当者のみ	※外国人留学生は対象外※ [第1次試験(外国語科目)免除のための証明書] 以下の要件を満たした英語外部試験のスコアカードを提出した場合、第1次試験(外国語科目)が免除されます。出願締切日より遡って2年以内に受験したスコアカード/成績証明書を提出してください。 ・TOEIC(Listening and Reading Test) 865点以上の公式認定証(Official Score Certificate) ・TOEFL iBT 83点以上のスコアレポート(Official Score Report) ・IELTS 6.0以上の成績証明書(Test Report Form)	
留学にかかる 経費負担計画書 ※該当者のみ [所定様式]	※外国籍(日本国永住者以外)の方のみ提出 ・所定の用紙に、本学に留学する間の総費用(修士課程2年分の学費及び生活費)をどのように負担するのかについて、日本語または英語で記入してください。 ・志願者本人の署名を忘れないようにしてください。 ・経費負担計画書の「政府またはその他財団(Government/sponsoring agency)」の欄に記入された方は、給付金額および給付期間を明示した奨学金の給付に関する証明書を提出してください。	
パスポートのコピー ※該当者のみ	※外国籍の方のみ提出 ・写真が掲載されたページのコピーを提出してください(有効期限に注意をしてください)。	
在留資格証明書 ※該当者のみ	※有効な在留カードを所持している場合のみ提出 在留カードのコピーまたは在留番号が記載された住民票の写しを提出してください。	
田山輝明ゼミ 稲門会奨学金 [所定様式] ※該当者のみ	※当該奨学金申請資格を有し、かつ受給を希望する方のみ提出 ・出願時に申請用紙の提出がない場合、合格後に受給を希望しても当該奨学金を受給することはできません。受給額等の詳細に関しては、「奨学金制度」の項目を参照してください。	

出願時に、本入試要項記載の出願資格を満たすために入学資格取得見込の証明書を提出された方につきましては、入学手続時に、その資格取得を証明する書類を提出してください。入学試験に合格されても、入学までにその資格取得の証明書を提出できない(入学資格を満たすことができない)場合は、入学を認められませんので注意してください。

本学では、入学試験の円滑な実施と入学手続の必要上、合理的理由があると判断される必要最小限に留め、戸籍またはパスポート等の公的書類上の性別情報を収集しています。パスポート等の公的書類上の性別が男女のいずれでもない方は、出願に先立ち、本研究科までご連絡ください。性別情報が合否に影響を及ぼすことは一切ありません。

<https://www.waseda.jp/inst/diversity/support/sexual-minority/>

(7) 受 験 票

受験票は、出願が受理された志願者に対し、第1次試験実施1週間前までにTAO上にて公開いたします。試験実施1週間前になっても確認できない場合は、直ちに本研究科事務所(E-mail: gradlaw@list.waseda.jp)までお問い合わせください。なお、受験票は第1次試験(筆記試験)の際に確認します。カラー印刷で出力し、第1次試験会場に必ず持参してください。

(8) 試 験 科 目

第 1 次 試 験		第 2 次 試 験
外 国 語 科 目	専 門 科 目	
・次のうちから1科目選択。 英語 ^(注1) ・ ドイツ語 ・ フランス語 ・ 中国語 ・ ロシア語 ・外国人留学生 ^{注2} は次のうちから1科目選択(ただし、母国語の選択は不可)。 英語 ・ ドイツ語 ・ フランス語 ・ 中国語 ・ ロシア語 ・ 日本語(法律学基礎)	専修科目 1科目	口述試験

注1 以下の要件を満たした英語能力試験のスコアカードを提出した場合、第1次試験(外国語科目)が免除されます。出願締切日より遡って2年以内に受験したスコアカード/成績証明書を提出してください。

※外国人留学生は対象外です。

・TOEIC (Listening and Reading Test) 865 点以上の公式認定証(Official Score Certificate)

・TOEFL iBT 83 点以上のスコアレポート(Official Score Report)

・IELTS 6.0 以上の成績証明書(Test Report Form)

注2 ここでいう外国人留学生とは、原則として外国人であり留学生である人(外国籍かつ日本国永住者以外の方)であり、在留資格「留学」で日本に滞在する方を指します。外国人留学生とその他とで試験問題が異なることがありますので、自身がどちらに当たるかが不明である場合は、事前に本研究科(gradlaw@list.waseda.jp)にメールにてお問い合わせください。

注3 上記外国人留学生の定義に当てはまらない場合でも、母国語の選択は認められません。

注4 出願後は、出願期間中であっても、受験科目の変更は一切認めません。

注5 「専門科目」は指導教員単位ではなく、専修単位で出題されます。

注6 「日本語(法律学基礎)」は法律学の基礎を問うことにより日本語の能力を試験する科目です。

(9) 試験日時(時間割)および合格者発表日

第 1 次 試 験 (筆記試験)		第 2 次 試 験 (口述試験)	
試 験 日 時	合格者発表日	試 験 日	合格者発表日
2025年9月6日(土) 外国語科目 10:00~12:00 専門科目 13:30~15:00	2025年9月18日(木) 10:00	2025年9月24日(水) または 9月25日(木)	2025年10月16日(木) 10:00

※第1次試験(筆記試験)の集合時間は試験開始の30分前です。

※第2次試験(口述試験)の日は、第1次試験合格者発表時に本研究科Webサイトに掲示します。

(10) 第 1 次試験・第 2 次試験 試験場

第 1 次 試 験 会 場 (筆記試験)	第 2 次 試 験 会 場 (口述試験)
早稲田キャンパス8号館内教室 ※確定情報は受験票でお知らせします。	原則オンライン ※事前にオンライン環境の準備(ビデオ通話が十分にできる程度のカメラ、マイク、Wifi環境等)をしておいてください。

(11) 合格者発表

第1次試験、第2次試験、それぞれの合格者発表日時に、本研究科Webサイト

(<https://www.waseda.jp/folaw/glaw/>)で合格者の受験番号を発表します。

※第2次試験の実施日時は、第1次試験の合格者発表時に発表されます。

※合格通知書の発行を希望する場合は、合格発表後に本研究科事務所へご連絡ください。合格者発表以降対応します。

(12) 注意事項

【受験生の皆さんへお願い】

- ・基本的な感染予防対策（手洗い等の手指衛生や咳エチケット等）を徹底してください。なお、本学ではマスクの着用は個人の判断に委ねます。
- ・学校保健安全法で出席の停止が求められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、風疹等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督員への感染の恐れがあるため、受験をご遠慮ください。
- ・上記に該当しない場合でも、試験当日までに発熱等の症状がある場合は、かかりつけ医等に相談のうえ、当日の受験を見合わせる等、その指示に従ってください。
- ・欠席した場合でも、本学が特別な対応を公表した場合を除いて、追試験の実施や入学検定料の返還は行いません。

- ① 受験生は全員必ず、受験票（ご自身でカラー印刷したもの）・筆記用具を持参して、受験票は机の上に置いてください。
- ② 受験生は全員必ず、**各科目試験開始時刻の30分前までに**自分の受験番号の席についてください。試験開始30分前から監督員による説明が開始されます。お手洗い等も済ませた上で、**試験開始30分前までに着席ください。**
- ③ **第1時限の試験開始後20分を経過してからの入場は一切認めません。**その場合、第2時限以降の受験も認めません。また、第2時限以降は、試験開始後20分を経過してからの試験教室への入室は認めません。
- ④ 答えは、黒のボールペン書きとします。（修正液・修正テープの使用を認めます。鉛筆、シャープペンシル、消えるボールペンの使用は認めません。）
- ⑤ 携帯電話、PHS、スマートフォン等は、必ず電源を切り、かばんにしまってください。時計としての使用も認めません。
- ⑥ いかなる場合も解答用紙は提出してください。試験終了時刻より前に答案が完成した場合でも、試験時間終了後、答案の回収・確認作業が完了し監督員の指示があるまで退室できません。
- ⑦ 試験時間中に使用できる物品は以下のとおりです。ただし、「試験時間中に使用できる物品」を使用している場合でも、不正行為防止のため、必要に応じて試験監督員が確認することがあります。また、文房具・時計等の貸し出しは行っていないので、必要な物品は各自で忘れずに持参してください。

【試験時間中に使用できる物品】

物品	注意事項
黒のボールペン	消えるボールペンの使用は認められません。
修正液・修正テープ	
マスク	・マスクの着用は個人の判断に委ねます。 ・無地のものにかざり使用を認めます。 ・写真照合の際にいったん外していただくことがあります。
フェイスシールド	シールド部分が無色透明のものに限り使用を認めます。
ティッシュペーパー・ 手指用ティッシュ	袋または箱から中身だけ取り出して使用してください。

【試験時間中に使用できる物品（続き）】

物品	注意事項				
時計・ストップウォッチ	試験教室に時計は設置していませんので、必ず各自で持参してください。 ただし、以下に留意してください。 ・秒針音のするものは周囲の受験者の迷惑となる可能性があるため、使用を認めません。 ・辞書・電卓等、時計・計時以外の機能のあるものは、使用を認めません。 ・通信機能のあるものは、それが電波を発しない状態であっても使用を認めません。 ・携帯電話等を時計として使用することは認めません。 ・試験時間中に時計のアラーム音等が鳴った場合、不正行為となることがあります。 ・その他、他の受験者の迷惑になる可能性や試験の円滑な実施に支障をきたす、または不正行為につながると試験監督員が判断した場合、試験場において試験監督員が確認し、使用を認めない場合があります。				
ビニール手袋	無地のものにかざり着用を認めます。				
手指用消毒液	・試験期間中は持参した手指用消毒液の使用を認めません。手指の消毒を希望する場合は、試験監督員に申し出てください。 ・教室にも手指用消毒液を複数設置する予定です。				
ハンカチ・ハンドタオル	文字や地図等がプリントされているものは使用を認めません。				
座布団・ひざ掛け	文字や地図等がプリントされているものは使用を認めません。				
目薬・点鼻薬	試験時間中は机上に置かず各自の荷物の中にしまっておき、使用する場合は試験監督員に申し出てください。				
持込の認められた辞書等	<table border="1"> <tr> <td>外国語 (1冊まで。 但し外国学生は 2冊まで。)</td><td>外国語辞典</td></tr> <tr> <td>専門科目 (冊数制限なし)</td><td> 六法（当日認められた場合に限り） ※使用可能な六法は、有斐閣「六法全書」、有斐閣「ポケット六法」、三省堂「デイリー六法」のいずれかに限ります。 ※上記3種類の六法の「追録」（出版社発行のものに限る。自らプリントアウトしたもの等は含まれない）は「六法」に含めます。 ※六法の「付録」（改正法案、六法の使い方等）は、「六法」に含まれません。 </td></tr> </table> ※電子辞書等は上記に含まれません。 ※専門用語辞典（法律用語辞典、外国法辞典等）は上記に含まれません。 ※いずれも原則として書き込みがあるものは使用できません。但し、書き込みがマーカーや線引きのみの場合には、試験監督が確認の上、使用を認めることがあります。 ※付箋の使用は認めません。 ※辞典・六法の貸し出しは一切行いません。 ※六法の使用可否は、当日までお伝えできません。六法を持参するかどうかは各自でご判断ください。	外国語 (1冊まで。 但し外国学生は 2冊まで。)	外国語辞典	専門科目 (冊数制限なし)	六法（当日認められた場合に限り） ※使用可能な六法は、有斐閣「六法全書」、有斐閣「ポケット六法」、三省堂「デイリー六法」のいずれかに限ります。 ※上記3種類の六法の「追録」（出版社発行のものに限る。自らプリントアウトしたもの等は含まれない）は「六法」に含めます。 ※六法の「付録」（改正法案、六法の使い方等）は、「六法」に含まれません。
外国語 (1冊まで。 但し外国学生は 2冊まで。)	外国語辞典				
専門科目 (冊数制限なし)	六法（当日認められた場合に限り） ※使用可能な六法は、有斐閣「六法全書」、有斐閣「ポケット六法」、三省堂「デイリー六法」のいずれかに限ります。 ※上記3種類の六法の「追録」（出版社発行のものに限る。自らプリントアウトしたもの等は含まれない）は「六法」に含めます。 ※六法の「付録」（改正法案、六法の使い方等）は、「六法」に含まれません。				

- ⑧ 上記「試験時間中に使用できる物品」以外の物品の使用は原則として認めません。机上に置いている場合や使用した場合は、不正行為とみなされる場合があります。次に「試験時間中に使用を認めない物品」の一例を示します。

【試験時間中に使用を認めない物品】

物品	備考
携帯電話、PHS、スマートフォン、タブレット、腕時計型端末等の通信機能のある機器	時計としての使用も認めません。必ず、電源を切ってかばんにしまってください。

【試験時間中に使用を認めない物品（続き）】

物品	備考
電卓・電子辞書・音楽プレーヤー・IC レコーダー等の電子機器	必ず、電源を切ってかばんにしまってください。
耳栓	試験監督員の指示が聞こえない可能性があるので使用を認めません。
飲食物	ペットボトル飲料、飴、ガム等を含みます。
黒のボールペン以外の筆記用具（蛍光ペン、赤ペン、鉛筆、シャープペンシル等）、筆箱	
帽子等	フードの着用も認めません。
空間除菌グッズなど	

- ⑨ 万が一、当日筆記試験の実施が困難となった場合は、別日に入学試験を実施予定です。その場合は全出願者へ E メールで連絡します。
- ⑩ 合格者発表は、前述 Web サイトにて確認してください。電話による可否に関する問い合わせには応じません。
- ⑪ 第 2 次試験は、第 1 次試験合格者発表の際に、受験生ごとに第 2 次試験日のうち特定の時刻を本研究科が指定します。

【第 2 次試験（オンライン口述試験）について】

1. 概要

- Web 会議システム（以下、Zoom）を使用して実施します。試験当日に本学へ来校する必要はありません。
- Zoom の利用にあたっては志願者自身に利用設備環境の準備を行っていただきます。必ず以下（4）注意事項に掲げる環境が確保できることを確認してください。また、Zoom の利用にあたって生ずる必要経費は志願者の自己負担とします。
- 本学は試験中のデータを選考に活用するため、録音、録画、撮影のいずれかを行うことがあります。
- 本学以外の者による録音、録画、撮影は禁止します。

2. 注意事項（事前に志願者へ求める機器環境など）

① インターネット接続環境

安定したインターネット回線をご用意ください。回線の安定性の観点からケーブルを使用した有線 LAN システムの利用をお奨めします。

② 音声、映像機材

Web カメラ、マイク、イヤホン、スピーカー等を準備してください。パソコン等に内蔵されているものを利用していただいてもかまいません。事前に Zoom のテストミーティング (<http://zoom.us/test>) に参加し、音声・映像の確認をしてください。

③ 利用場所・面接時間

上記の環境が整えられ、周りに第三者のいない静寂な環境を保つことのできる場所を確保してください。試験開始時間は本学にて指定いたします。個別のご要望には応じかねますので、予めご了承ください。

④ 当日のトラブル対応、注意事項

接続が切れてしまう等の不測の事態により試験の実施が困難と判断される場合、入学志願票に記載の連絡先に本学から電話やメールにて連絡します。連絡内容を確認し、その指示に従ってください。連絡がつか

ない場合や指示に従わない場合は、当該志願者を試験放棄とみなすことがあります。その場合においても、入学検定料は返還いたしません。試験中に離席した場合、試験放棄とみなすことがあります。以下の注意事項を守らない場合は、不正行為とみなすことがあります。

- 手元に置けるものは受験票、筆記用具、メモ帳、無地のハンカチ、箱や袋から出したティッシュペーパーのみです。

⑤ Zoom に関する注意事項

- Zoom の映像と音声は常に「オン」にし、常に画面に顔全体が映るようにしてください。
- 試験で使用している機器以外の通信機器は使用しないでください。また、試験で使用している機器で情報を検索したり、Zoom 以外のアプリケーションやツールを使用したりしないでください。
- Zoom のバーチャル背景機能は使用しないでください。
- 周りに第三者がいらないことの確認のために、試験の前後及び試験中、カメラを動かして部屋全体を映すことを求めることがあります。その場合は指示に従ってください。
- 試験中はマスクを外してください。
- Zoom の操作方法は以下のサイトをご確認ください。

Zoom サポート：

<https://support.zoom.us/hc/ja>

(13) 「不正行為」に関する注意事項

本学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう、以下の注意事項を定めています。本学入学試験の受験に際しては、この注意事項を熟読のうえ、真剣な態度で試験に臨んでください。

1. 出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為となることがあります。
2. 次のことをすると不正行為となることがあります。
 - ①カンニングをすること（試験時間中にカンニングペーパー・参考書等を隠し持つ・使用する、他の受験者の答案等を見る、他の人から答えを教わる、身体、物品、机などにメモをする、メモを見るなど）。
 - ②筆記試験において、試験中に使用を認められていない物品を使用すること（机上に置くこと、身に付けることを含む）。
 - ③筆記試験において、「試験開始です。」の指示の前に、問題冊子・解答用紙に触れること（冊子を開く、解答を始める、裏面・余白などに書き込みを行うなど）。
 - ④筆記試験において、「試験終了です。筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにしてください。」の指示に従わず、筆記用具を持っていたり解答を続けたりすること。
 - ⑤試験時間中に、答えを教えるなど他の受験者を利するような行為をすること。
 - ⑥試験時間中に携帯電話等を身に付けること、使用すること。
 - ⑦試験時間中に携帯電話等や時計の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすこと。
 - ⑧試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ⑨試験場において監督員等の指示に従わないこと。
 - ⑩志願者以外の者が志願者本人になりすまして試験を受けること。
 - ⑪解答用紙を持ち帰ること。
 - ⑫その他、試験の公平性を損なう行為をすること。
3. 不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。これらに応じない場合、不正行為を自認したものとみなします。
 - ・監督員等が注意をする、または事情を聴くこと。
 - ・別室または別席での受験を求めること。
 - ・本学に提出された書類・資料・論文および提供された情報等（「本提出書類等」といいます。）につき、その真正性等について、本学が発行元・提供元および論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすること。志願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとする。
4. 不正行為と認められた場合、次のような対応をとることがあります。
 - ・当該年度における本学の全ての入学試験の受験を認めないこと（入学検定料は返還しない）。
 - ・当該年度における本学の全ての入学試験の結果を無効とすること。なお、入学後に不正行為と認められた場合は、本学規程に基づき入学取消の対象となることがあります。

大学が極めて悪質かつ重大であると判断した不正行為については、警察への通報や不正行為者の在籍大学・出身大学・保護者等への報告を行う場合があります。

以 上

(14) 早稲田大学入学試験実施に際して

本学では、入学試験の実施に際し、以下のような対応をとることがあります。あらかじめご了承ください。

◆受験環境について

可能な限り公平・静粛な受験環境の確保に努めますが、やむを得ず以下のような対応をとることがあります。

- ①生活騒音（自動車・航空機・風雨・換気・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話等の鳴動など）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行いません。また、試験中に監督員が小聲で最低限の打ち合わせを行う場合がありますが、この場合も原則として特別な措置は行いません。
- ②試験中に携帯電話や時計等の音・振動などが発生し、発生源のかばんなどが特定できた場合、持ち主の同意なく監督員が試験教室外に持ち出し、試験本部で保管すること、あるいはかばんの中から携帯電話・時計等を取り出し鳴動停止の操作をすることがあります。
- ③隣席の受験者の手洗いや、体調不良による入退室のため、監督員の指示により席を立っていただくことがあります。その場合でも、原則として試験時間の延長等特別な措置は行いません。
- ④机、椅子、空調、音響設備等の試験教室による違いは一切考慮しません。
- ⑤他の受験者が迷惑と感じる行為がある場合、別室または別席での受験を求めることがあります。

◆不可抗力による事故等

台風、洪水、地震、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等や交通機関の乱れが発生した場合、試験開始時刻および終了時刻の繰下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については一切責任を負いません。

◆病気

試験当日は救護所に医師が待機しており、診察を受けることが可能ですので、必要に応じてご利用ください。試験中に体調が悪くなった場合には、その旨を監督員に速やかに申し出てください。また、体調不良が疑われる受験者に対して、監督員が救護所での診察を促す場合もあります。ただし、移動や診察等にかかる試験時間の確保・延長はありませんので、注意してください。

◆遺失物

物品を紛失した場合は、各試験場の監督員または係員に申し出てください。また、翌日以降は法学研究科事務所（EMAIL: gradlaw@list.waseda.jp）まで問い合わせてください。なお、入試当日の遺失物については、法学研究科事務所で3か月間保管し、その後処分いたします。

◆付添者について

試験当日、受験者以外の方は試験会場に入れません。

(15) 出願書類および入学検定料の返還について

一度提出した書類および納入した入学検定料は、原則として返還いたしません。ただし、下記のケースに該当する場合は、入学検定料に限り返還いたします。該当する方は、早稲田大学大学院法学研究科までご連絡ください（EMAIL: gradlaw@list.waseda.jp）。

- 1) 入学検定料を支払ったが、出願書類を提出しなかった。
- 2) 入学検定料を支払ったが、出願締切後に出願書類を提出した。
- 3) 入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった。
- 4) 入国制限・渡航制限により日本に入国できなかったことにより、本学での試験を受験できなかった。

なお、クレジットカードにより入学検定料を納入した場合や、日本国外の金融機関口座へ入学検定料を返還する場合、返還に伴い発生する手数料等は志願者の負担となります。

3. 入 学 手 続

(1) 入学手続期限

手 続 期 限 : 2025年12月中旬(予定)

※詳細は合格者に別途お知らせいたします。

※所定の期間内に①入学手続情報の入力<UCARO>、②入学手続料(登録料(入学金相当額)・学費・諸会費)の納入<銀行振込>、③入学手続書類提出<郵送>の3点を完了することにより、入学手続が完了します。

※最終合格者に対し、2025年11月下旬頃に入学手続書類を送付します。出願時と住所が変更となる場合には必ず連絡をしてください。国外出願者に対しては手続書類の一部を早期に送付し、入学手続を行っていただきます。

※入学手続についての詳細は、最終合格者に送付する「入学手続の手引き」をご参照ください。

※期限内に入学手続が完了した場合、入学日は2026年4月1日となります。

(2) 入学金・学費・諸会費

2026年度入学者 入学金・学費・諸会費

(単位: 円)

年度	納入期	入学金	学 費		諸会費					合 計
			授業料	演習料	学生健康増進 互助会費	学会 入会金	学会 会費	学友会 会費	校友会費	
初年度	入学時 (春学期)	300,000	311,000	1,500	1,500	5,000	1,000	1,250	—	621,250
	秋学期	—	311,000	1,500	1,500	—	1,000	1,250	—	316,250
	計	300,000	622,000	3,000	3,000	5,000	2,000	2,500	—	937,500
第2年度	春学期	—	461,000	1,500	1,500	—	1,000	1,250	—	466,250
	秋学期	—	461,000	1,500	1,500	—	1,000	1,250	40,000	506,250
	計	—	922,000	3,000	3,000	—	2,000	2,500	40,000	972,500

- (注意)
1. 本学、本学大学院または専攻科の在学、卒業、修了または退学者が入学する場合、入学金が免除されます。詳細については、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。
 2. 早稲田大学法学部等に在籍したことがある場合は、学会入会金は免除となります。ご自身が該当するかどうか不明な場合は、本研究科事務所までお問い合わせください。
 3. 校友会費は本学学部出身者、編入学者は免除されます。
 4. 学費等は改定されることがあります。
 5. 学費についてはMD一貫の適用ではなく、それぞれの課程に入学した年度の学費設定が適用されます。

一度提出した書類および納入した登録料(入学金相当額)、学費・諸会費(春学期分)は、原則として返還しません。ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合や、入学までに入学資格を満たさなかった場合には、学費・諸会費(春学期分)のみ返還の対象となります。手続方法等、詳細については、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。

※本研究科と、本学および本学以外の他の研究科や学部、正規学生の身分で重複して在籍することはありません。

法 学 研 究 科 案 内

本研究科では、修士課程に民事法学専攻、公法学専攻、基礎法学専攻、先端法学専攻※の4専攻を設置し、民事法学専攻、公法学専攻、基礎法学専攻ではそれぞれに研究指導・専修科目・専修科目以外の科目を設置しています。配当科目については、本研究科webページ(<https://www.waseda.jp/fo law/g law/students/guide/>)をご参照ください。

※先端法学専攻(LL.M.)の入試は別途実施しております。詳しくは先端法学専攻入試要項を確認してください。

博士後期課程では、民事法学専攻と公法学専攻の2専攻を設置しています。基礎法学専攻の研究指導は民事法学・公法学専攻内に設置されていますので、基礎法学専攻者は、各人の研究テーマの性質によってそのいずれかに進むことになります。

1. 専修からのメッセージ

各専修からのメッセージは以下URLより確認ください。

<https://www.waseda.jp/fo law/g law/applicants/message/>

2. 履修・進学について

大学院修士課程に2年以上在学し、所要の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査および試験に合格した者を修了とし、修士(法学)の学位を授与します。

(1) 修了必要単位数

区 分	修了所定単位	備考
専修科目	4単位(2科目)	対象科目・算入ルール等については、入学後に配付される研究科要項参照。
専修科目、専修科目以外の科目 および他専攻の科目等	26単位(13科目)	他研究科等で取得した単位も算入可能(上限単位数あり)。対象科目・算入ルール等については、入学後に配付される研究科要項参照。
修士論文		
合計	30単位(15科目)	

(2) 修 士 論 文

指導教授の指示に従い、作成した修士論文は所定の期日に法学研究科に提出し、審査を受け、合格する必要があります。修士論文提出、審査は例年次のようなスケジュールですが、日程、手続の詳細は入学後別途お知らせします。

◎修士論文執筆・提出スケジュール※

日程	内容
2年次 4月	修士論文計画書提出
2年次 7月	修士論文報告会
2年次 12月初旬	修士論文概要書提出
2年次 1月初旬	修士論文提出
2年次 1月下旬～2月初旬	修士論文審査(面接)
2年次 2月下旬～3月初旬	修士論文審査結果の発表 (修了者発表)

※延長生の方には、9月修了に向けた修士論文提出スケジュールを案内します。

※1年修了を希望する方には、別途修士論文提出スケジュールを案内します。

(3) 博士後期課程への進学

一般入試および自己推薦入試・学内AO入試による修士課程入学者は、博士後期課程への進学に際して、筆記による入学試験は課されておきませんが、修士論文審査・口述試験に合格し、法学研究科の委員会にて承認されることが条件となります。なお、博士論文提出までに外国語能力試験が課され、当該試験に合格することが必要となります。すなわち、入学試験としての筆記試験が免除された場合でも、博士後期課程入試の筆記試験と同日(修士2年時の1月)に外国語能力試験を受験していただくことになります。

奨 学 金 制 度

本研究科で受給できる主な奨学金制度は以下URLをご確認ください。

<https://www.waseda.jp/folaw/glaw/applicants/scholarship/>

◎本学法学部からの進学希望者へのご案内◎

■田山輝明ゼミ稲門会奨学金

(1)奨学金の概要

田山輝明ゼミ稲門会奨学金は、田山輝明法学部名誉教授および田山輝明ゼミ稲門会からの寄付からなる奨学金です。本学法学研究科修士課程民法専修進学予定者で、勉学上の経済的支援を必要とし、学業および人物ともに優れた者を援助することを目的としています。

(2)奨学金の内容

①奨学金額：40 万円（給付）

②給付時期：2025 年度中

【特記事項】

・応募の際に申請した進路に進学しなかった場合は受給した奨学金を返還しなければなりません。

(3)募集人員

1 名

(4)奨学金申請資格

田山輝明ゼミ稲門会奨学金を申請する者は、次の①～③のすべてに該当していること。

①早稲田大学法学部に在籍する 4 年生または 3 年卒業対象者

②2026 年度本学法学研究科修士課程民事法学専攻民法専修に進学予定である者

③勉学上での経済的援助を必要とし、学業および人物ともに優れた者

(5)申請方法

本学法学部 Web サイト（以下の URL）より所定の書式をダウンロードし、必要事項を記入の上、その他の出願書類とともに TA0 上に提出してください。

<https://www.waseda.jp/folaw/law/students/tuition/>

(6)選考結果通知

採用された場合は、2025 年 12 月ごろまでに通知します。

外国学生（外国籍）の方へ

在留資格についての Web サイト：<http://www.cie-waseda.jp/visastatus/jp/index.html>

在留資格「留学」の取得について

早稲田大学への入学を許可された外国学生は、在留資格「留学」を申請することができます。「留学」の在留資格を有する学生は、外国人留学生授業料減免や留学生対象奨学金を申請することができます。**「留学」以外の在留資格の場合は、上記のような留学生対象の各種補助制度は利用できませんのでご了承ください。**

「短期滞在」の在留資格で大学に在籍することはできませんので注意してください。以下の（１）～（６）をよく読んで、いずれかに該当する方は在留期間更新や在留資格変更、在留資格認定証明書交付申請など必要な在留手続を行ってください。**在留手続を行うには入学手続料等の納入を完了していることが必要です。**手続きに「入学許可書」が必要な場合は、希望者に対し入学予定学部／研究科事務所で発行します。

（１） 「留学」の在留資格を有している場合

現時点ですでに「留学」の在留資格を有している場合は、必要に応じて「在留期間更新許可申請」を行ってください。手続に関する詳細は、早稲田大学留学センターの在留資格のWebサイト内、「入学前の方へ」の[「留学」の在留資格を持っている方](#)を参照してください。

（２） 「短期滞在」の在留資格を有している場合

現時点で「短期滞在」の在留資格を有している場合は、原則として一度国外へ出て「留学」の在留資格を申請する必要があります。「留学」の在留資格の申請方法については、**「（４）在留資格を有していない場合」**を参照してください。

（３） 上記以外の在留資格を有している場合

現在の在留資格に該当する活動が終わる場合は、「留学」の在留資格に変更が必要です。「家族滞在」など、状態が変わらない場合は必要に応じて在留資格を変更してください。手続に関する詳細は、早稲田大学留学センターの在留資格のWebサイト内、「入学前の方へ」の[「「留学」以外の在留資格を持っている方」](#)を参照してください。

【注】 在留期間更新許可申請および在留資格変更許可申請には、早稲田大学の押印のある書類が必要です。出入国在留管理局に申請する前に、申請書、入学許可書およびその他申請に必要な書類を大学に提出する必要がありますので注意してください。

（４） 在留資格を有していない場合

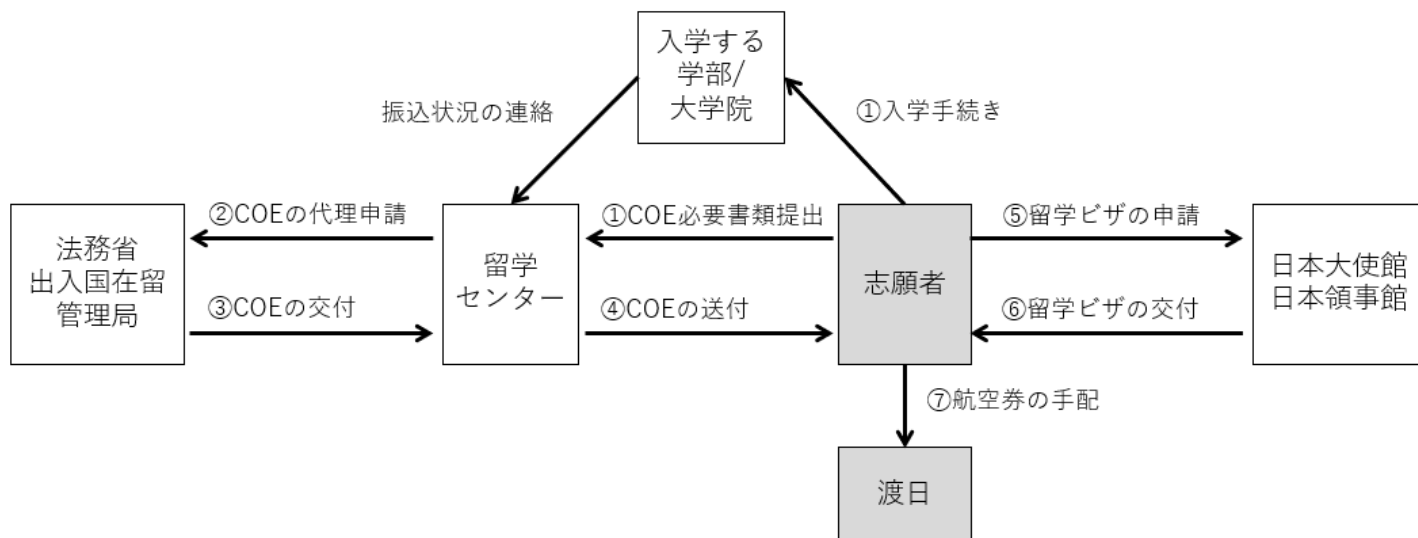
在留資格を申請するには、まず日本国内の出入国在留管理局に「在留資格認定証明書」（Certificate of Eligibility＝COE）を申請する必要があります。早稲田大学では**入学手続を完了した国外居住の外国籍学生に限り**、本人に代わって出入国在留管理局にCOEの代理申請を行います。代理申請後、COEが出入国在留管理局より交付され早稲田大学に送付されましたら、早稲田大学留学センターから申請者に送ります。COEを受け取った後は、パスポートとともに持参し、国籍を有する国または居住国の日本大使館、領事館で「留学」ビザ（査証）を申請してください。COEの有効期間は3か月です。有効期間内にビザを取得し渡日する必要があります。出入国在留管理局での審査には2か月程度を要しますので、申請が入学直前にならないよう注意してください。

【注】 代理申請は、入学手続料等の振込を完了しないと行いません。

【注】 代理申請に必要な書類と送付先については合格者に対し、入学手続案内時にご案内いたします。

【留学ビザ取得までの流れ（①→⑦）】

- ※ 留学ビザ交付にかかる日数は大使館、領事館によって異なり、場合によっては3週間ほど要します。
- ※ 留学センターにCOE申請書類を提出後、申請予定の日本大使館・領事館へ連絡して、おおよその所要日数を把握しておいてください。



（5） 在留資格の取得、変更（自己申請）

〈査証免除／短期滞在の資格で入国している場合〉

査証免除／短期滞在（観光、商用、知人・親族訪問等90日以内の滞在で報酬を得る活動をしない場合）で入国した場合、原則として一度出国し、国籍を有する国または居住国の日本大使館・領事館でCOEを提出し、留学ビザを取得してから再入国してください。しかしながら、入学試験日が年度末（2月末、3月）でCOEの交付が遅く、新学期前に帰国が難しい場合は、COEが発行されたら、出入国在留管理局で資格変更許可申請を行うことは可能です。ただし、例外的な申請となりますので、在留資格の変更が許可されない場合もあります。在留資格審査は出入国在留管理局が行うため、審査の期間や結果について、本学は一切責任を負いません。

【注】30日以内の短期滞在の資格の場合、日本での資格変更はできませんので、一度出国し、国籍を有する国または居住国の日本大使館・領事館でCOEを提出し、留学ビザを取得してから再入国してください。

（6） その他注意事項

- ・早稲田大学留学センターが代理申請を行う在留資格は「留学」のみです。その他の在留資格を申請する場合は、自身で出入国在留管理局に申請してください。
- ・必要に応じて、出入国在留管理局から追加書類を要求されることがあります。
- ・事情により早稲田大学への入学を辞退する場合は、至急留学センターにお知らせください。また、他大学にも合格した場合、COEの交付申請が重複しないように注意してください。重複している場合、COEは交付されません。
- ・重国籍者で日本国籍を有する場合は、COEを申請できません。
- ・在留資格審査は出入国在留管理局が行うため、交付が遅れる場合や不許可となった場合、航空券の違約金等、本学は一切の責任を負いません。渡航手配は慎重に行ってください。
- ・在留資格「留学」の手続に関しては早稲田大学留学センター（E-mail: cie-zairyu@list.waseda.jp）へ問い合わせてください。

〈 本学各キャンパス案内 〉

<https://www.waseda.jp/top/access>

〈 交 通 案 内 〉

早稲田キャンパス

J R 山 手 線	}	高田馬場駅（徒歩 20 分）
西 武 新 宿 線		
東京メトロ東西線		早稲田駅（徒歩 5 分）
都バス(学 02)		高田馬場—早大正門（徒歩 0 分）
都バス(早 77)		新宿駅西口—早稲田（早大正門下車／徒歩 1 分）
都バス(早 81)		渋谷駅—早大正門（徒歩 0 分）（循環）
都バス(上 69)		上野広小路—早稲田（徒歩 2 分）（循環）
都 電 荒 川 線		三ノ輪橋—早稲田（徒歩 5 分）

2025 年 6 月公開

早稲田大学大学院法学研究科

事務所開室時間：平日 10 時～16 時（土日祝日は閉室）

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1

<https://www.waseda.jp/folaw/glaw/>
gradlaw@list.waseda.jp